

アメリカのエンタープライズシステム のテストとの比較

-CAST2012情報-
(Conference - Association for Software Testing)

CASTとは

- AST主催のテストカンファレンス
 - ASTとは。James BachやCem Kannerが中心のテストを技術や人を中心に考えるコミュニティ。会員約1300人。年会費80\$
- 2日間セッション。1日間チュートリアル
- 参加者約200名。テストマネージャ、テストエンジニアが集まる



基調講演の様子



セッションの様子

CAST2012での情報サマリー

		アメリカのエンタープライズテストの情報 (CAST2012で収集した情報)	日本のエンタープライズテストの情報
比較の観点	IT部門	大企業は成熟したIT部門を持っている(テストコンサル)	成熟度のばらつきがある。
	テストのコミュニティ	ASTはエンジニアおよびテストマネージャ向け。モチベーション向上やチーム運営の話もある。	ASTER。エンジニア向け。
	開発とテストを分ける事について	大企業は開発とテストは分けている。生産性、品質などの観点から開発者は開発と修正のサイクルを繰り返すべきで、テストは別の専門家が行うのがよい、としている。(テストコンサル他)	まだあまり進んでいない。
	シナリオテストについて	アメリカでも、同じようなend to end testは行っており、業務プロセスの各処理や分岐などをどのようにテストするかは考えている。(テストマネージャ) UATやパフォーマンステストを中心にこなっている。(トレーディングシステムのテストマネージャ)	エンプラではこの点が組み込みと異なるという認識。
	どのテストレベルをやるか？	各企業によってテストチームのRoleモデルは異なる。うちは単体テスト以外全てやっている(ユーザー企業のテストマネージャ)	テストを分けていないので、どのテストレベルやるかまで話が進んでいない。IT部門の最終確認テストを第3者に委託している例もある。

The end of presentation